

## 黒姫高原 (写真左)

7月中旬から10月中旬には50品種100万本の  
コスモスが吹き乱れ、遊しの森の散策も楽しめます。

## 野尻湖 (写真中)

周囲17.5kmの遊かな湖に囲まれた野尻湖。ボートや釣りも盛んで  
魚釣り、クルージング、サイクリングなど様々な遊びを満喫。

## 一茶の里 柏原 (写真右)

一茶の故郷信濃町は蕎麦の産地。森下そばに舌鼓を  
打ち、一面に広がる真っ白なそばの花の絶景を楽しむ。



## SHINANOMACHI Three Museums MAP



### 黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻3807-30 TEL.026-255-2250

### 野尻湖ナウマンゾウ博物館

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町大字野尻287-5 TEL.026-258-2090

### 一茶記念館

〒389-1305 長野県上水内郡信濃町大字柏原2437-2 TEL.026-255-3741

# 一茶 記念館

# 黒姫 童話館

# 野尻湖 ナウマンゾウ 博物館

# 3館周遊きっぷ

利用期間 4月5日～11月30日

3館券

一般 通常1,800円 → **1,300円**  
小中学生 通常1,100円 → **750円**

2館券

一般 通常1,000～1,300円 → **850円**  
小中学生 通常600～800円 → **500円**

購入方法

各館窓口にてお買い求めください。

注意点

- 3館券は各館に1回ずつ、2館券は、3館のうち2館に各1回ずつ入館できます。同じ館に複数回入館、グループでの共用はできません。
- ご利用途中、ご利用後の払い戻しはできません。



### ACCESS MAP



信濃町  
PRキャラクター

一茶

信濃町



# 黒姫 童話館 & 童話の森 ギャラリー



四季折々の花々と高原の爽やかな風景、美しい緑のパノラマのなか、メルヘンの世界を楽しむ



**松谷みよ子の世界**  
『モモちゃん』と『アカネちゃん』シリーズ『籠の子太郎』など、世を越えて多くのファンを魅了する作家松谷みよ子の常設展示室。



松谷 みよ子  
(1926~2015)



**ミヒヤエル・エンデの世界**  
『モモ』『はてしない物語』の作者として知られるエンデ。ご本人からいただいた貴重な資料約2,000点を所蔵する日本で唯一の常設展示室。



ミヒヤエル・エンデ  
(1929~1995)



**いわさきちひろ黒姫山荘**  
1966年、黒姫にアトリエを兼ねた山荘を建て「あかまんとうげ」「花の童話集」など数々の作品をここで制作しました。ちひろの思い出が詰まった山荘を童話館南側に移築し公開しています。



いわさき ちひろ  
(1918~1974)

## 童話の森ギャラリー

童話館に隣接し、信濃町や黒姫にゆかりのある作家、桜井誠や松木重雄などの作品を中心に企画展を開催しています。

※詳細はHPでご確認ください。  
※展示替休館日有



桜井誠 絵  
『長くつ下のピッピ』  
(岩波書店)



## 信濃の民話・ 信州の児童文学

20余編の信州の民話を映像やふすま式紙芝居で紹介。信州の児童文学コーナーでは、島崎藤村など信州ゆかりの作家を紹介しています。



## 童話の森ホール

200人収容できるホールでは、週末を中心に人形劇や演劇、コンサート、朗読会、紙芝居など多彩なイベントを開催しています。

## 御鹿池(御鹿温泉)

童話館からつながる森の中の遊歩道では季節の山野草が皆さんを迎えてくれます。御鹿(おじか)池では水辺の野鳥も見る事ができます。



ご案内

**開館期間** 4月5日~11月30日 9時~17時 ※入館は16時30分まで ちひろ山荘は4月中旬~11月第2日曜  
**休館日** 4・7・8月を除く月末日(土日の場合は翌月曜日)、12月1日~4月4日(冬季休館)  
**入館料** (黒姫童話館)一般 600円(税込) 小・中学生 400円(税込)  
(童話の森ギャラリー)一般 800円[300円](税込) 小・中学生 500円[200円](税込) ※1内はギャラリーの入館料  
**アクセス** 信濃町ICから5km(約7分) 信濃の鉄道北しなの線黒姫駅下車

## お問い合わせ

### 黒姫童話館

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻3807-30  
TEL.026-255-2250 FAX.026-255-2261  
http://douwakan.com/



# 野尻湖 ナウマンゾウ 博物館



時を超えて現れた太古の化石ナウマンゾウ、オオツノジカいにしえの歴史を学ぶ



**ナウマンゾウとオオツノジカ**  
野尻湖からは、氷河時代を代表するナウマンゾウやオオツノジカの化石がたいへん多く発見されています。ナウマンゾウは背までの高さがおよそ2.8mあり、大きなねじれた牙をもっていることが特徴です。

## 狩りの道具(骨器)

ナウマンゾウやオオツノジカの化石と一緒に、旧石器時代の人々が狩りに使っていたと考えられる石や骨でできた道具が見つかっています。



## 楽しい野尻湖発掘

1962年からはじまった野尻湖発掘は、全国の友の会会員によって、いまでも続けられており、2018年3月には第22次発掘が行われました。野尻湖発掘は、友の会に入会すればどなたでも参加できます。博物館では友の会会員のみならず発掘した化石や石器などを展示しています。



## 体験ミュージアム

化石の発掘体験ができます。シカ革の服を着て、旧石器時代の人々の気分になって、写真撮影ができるコーナーもあります。さわって楽しめる展示です。

ご案内

**開館期間** 3月20日~11月30日 9時~17時  
**休館日** 4・7・8月を除く月末日(土日の場合は翌月曜日)、12月1日~3月19日(冬季休館)  
**冬季の見学** 年末年始以外は見学可 ※事前にお問合わせください  
**入館料** 一般 500円(税込) 小・中学生 300円(税込)  
**アクセス** 信濃町ICから4km(約5分) 信濃の鉄道北しなの線黒姫駅下車

## お問い合わせ

### 野尻湖ナウマンゾウ博物館

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町大字野尻287-5  
TEL.026-258-2090 FAX.026-258-3551  
http://nojiriko-museum.com



# 一茶のふるさと 一茶 記念館



今も心に響く語りかけるような温かい俳句 俳人一茶の面影に触れる



## 小林一茶(1763~1827)

小林一茶は、宝暦13年信州柏原に生まれました。15歳で江戸に奉公に出され、その後、俳人となって全国を歩きました。江戸を中心に活躍しましたが、晩年は帰郷して、北信濃の俳人と交流を重ね、65年の生涯を俳句に捧げました。代表作に『おらが春』『七番日記』などがあり、一茶は生涯に2万句もの俳句をつくりました。今も多くの人々の心に残る作品が数多く知られています。



## 史跡小林一茶旧宅

柏原宿の大火で類焼し、焼け出された一茶が亡くなるまでの半年ほどを過ごした一茶終焉の土蔵と、町家の建物が残されています。



## 俳諧寺

一茶を顕彰して、明治43(1910)年に建てられたお堂で、格天井にはここを訪れた著名な俳人の作品が掲げられています。



旅人の画と俳句を書いた一茶自筆作品。



## 一茶俳句の世界

常設展示では一茶の生涯をたどりながら、多くの一茶自筆作品を展示しています。毎年11月19日には一茶忌全国俳句大会を開催。



リリー・フランキーさん出演音声ガイド  
リリーさんが一茶役となって館内と周辺をご案内しながら、一茶の生涯を語ります。

ご案内

**開館期間** 3月20日~11月30日 9時~17時  
**休館日** 4・7・8月を除く月末日(土日の場合は翌月曜日)、12月1日~3月19日(冬季休館)  
**冬季の見学** 平日のみ見学可 土日祝日は要予約 ※事前にお問合わせください  
**入館料** 一般 500円(税込) 小・中学生 300円(税込)  
**アクセス** 信濃町ICから3km(約3分) 信濃の鉄道北しなの線黒姫駅下車~徒歩5分

## お問い合わせ

### 一茶記念館

〒389-1305 長野県上水内郡信濃町大字柏原2437-2  
TEL.026-255-3741 FAX.026-255-5505  
http://www.issakinenkan.com

